

司法試験委員が教えてくれない採点実感のそこんところ！！

～合格答案に必要な7のポイント～

平成29年2月26日

LEC 東京リーガルマインド専任講師 武山茂樹

1、出題趣旨と採点実感のタイムラグに注意せよ

→出題趣旨は、試験委員が採点前に考えた「書いてほしい」こと。「書かないでいてほしい」こと。

しかし、採点すると試験委員の「評価すべきこと」が出てくる。

そして、出題趣旨ではネガティブな事柄が、採点実感では高く評価されるポイントになることも

2、採点実感には答案の書き方のフォームが隠れている

→自分の書き方の確立につながる

例) 憲法の書き方、民法の二人ずつの関係に分解

3、他の受験者の出来を把握せよ

→多数の受験生が出来ている点、意外にもできていない点が明らかになる

例) 行政法の違法性の承継の判例理解、民法の親権の濫用の判例の理解

4、論点を抽出して論点表を作ってみよ

→自分が書けている論点、書けなかった論点を知る

5、論点の重要度の軽重を知る

→答案のメリハリ付けに役立つ

6、あてはめの事実を羅列した表を作ってみよ

→自分が拾えた事実、拾えなかった事実をチェック

7、評価される答案と評価されない答案の差異を知る

→「優秀」「良好」「一応の水準」「不良」

「良好」以上を狙う。「良好」と「一応の水準」の違いを知る



0 001221 171272

LU17127